

■科目名			
中等道德教育論【他学部生向け】 Theory and Practice of Moral Education			
■開設年度	■区分	■学科名	■分類
2021	教職に関する科目【他学部用】	教育学	
■単位数	■履修期	■履修条件	■開講期
2	3期	以降	前後
■担当教員			
帖佐尚人			
■代表教員名及び連絡先等			
chosa-n@soc.iuk.ac.jp			
■オフィスアワー			
学外講師のため、メール（chosa-n@soc.iuk.ac.jp）にて問い合わせること。			
■講義の概要（目的・内容・方法）			
本講義では、まず道德教育の法的・制度的位置付けや、我が国の道德教育の歴史を時系列的に把握していく。その後、道德の実践的指導力を培うことを目的として、道德教育の基礎理論として倫理学(道德哲学)や道德性の発達理論についての基礎的学習を織り交ぜつつ、実際に道德の学習指導案及び道德教材が作成できるよう、個人及びグループでのワークを取り入れた主体的な学習を進めていく。			
■授業の到達目標及びテーマ			
我が国の道德教育の歴史を時系列的に説明できる 個人の自由と道德の強制の関係性について説明できる 道德教育の実践諸理論を踏まえた学習指導案作成ができる			
■授業計画			
第01回 道德教育の基礎(1) 道德教育とは何か 第02回 道德教育の基礎(2) 戦前の道德教育史 第03回 道德教育の基礎(3) 戦後の学習指導要領の変遷と道德教育 第04回 道德教育の基礎(4) 道德教育と心情主義／「特別の教科 道德」のポイント 第05回 道德教育の指導法(1) 学習指導案作成(心情主義型)：資料調査・収集 第06回 道德教育の指導法(2) 学習指導案作成(心情主義型)：指導案作成 第07回 道德教育の指導法(3) 学習指導案作成(心情主義型)：指導案作成・提出 第08回 道德教育の基礎(5) 法と道德の基礎理論 第09回 道德教育の基礎(6) 個人の自由をめぐる諸問題の展開 第10回 道德教育の基礎(7) コールバーグの道德性発達段階説 第11回 道德教育の基礎(8) モラルジレンマ授業 第12回 道德教育の指導法(4) 学習指導案作成(ジレンマ型)：指導案作成 第13回 道德教育の指導法(5) 学習指導案作成(ジレンマ型)：指導案作成・提出 第14回 道德教育の指導法(6) 道德教材の研究 第15回 授業の総括と確認試験			
■授業外学習（予習・復習）			
各回の授業で扱う内容について、事前研究を進めておいてください。特に、第5回～第7回、第12回～第13回は、中学校の学習指導要領及び学習指導要領解説(道德編)を事前に精読し、また授業の空き時間等も活用して道德の学習指導案作成に当たること。			
■受講要件			
2年生以上			
■成績の評価基準			
確認試験（60点）、学習指導案作成（40点） ※授業への出席状況や授業に対する熱意の有無等は、上記評価とは別に減算により評価。			
■教科書・参考書			
毎回レジュメを配布し、パワーポイントやワークシートを用いて授業を進めます。			
■教師としての資質能力に関するチェック項目			
2. 教育の理念、制度、歴史等に関する理解 【A教職の理解】教育の理念を理解し、教育の制度や歴史・思想に関する基礎的な知識を身に付けている			

14. 教材分析力及び授業デザイン力

【D構想力，展開力，評価力等】教材を分析する能力を身に付けており，教材研究にもとづいて授業をデザインすることができる

17. 各教科等のカリキュラムに関する理解

【E教科領域等の内容理解】教育課程及びその編成や学習指導要領について，基礎的な知識を身に付けている

18. 各教科内容の基盤的知識の理解及び技能の習得

【E教科領域等の内容理解】教科内容の背景となる学問領域について，基盤的な知識や技能を身に付けている

19. 道徳，特別活動，総合的な学習の時間等に関する理解

【E教科領域等の内容理解】道徳，特別活動，総合的な学習の時間など，教科以外の教育活動について，その指導内容や指導方法に関する基礎的な知識を身に付けている

アクティブ・ラーニング

その他；

アクティブ・ラーニング（その他）

指導案作成・添削、教材作成

アクティブ・ラーニング(授業回数)

15回中6回

■実務経験のある教員による実践的授業

■その他